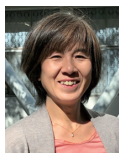


北九州 / 楽しく学ぶ 北九州文学サロン  
**みんなのまなび広場** in 京町



**講演内容**

※第一部と第二部の2回に分けて行います。  
 ※第一部または第二部のみのご参加も可能です。



なかはら さとえ  
**中原 聖乃**さん

2023 **7/15** 土 第一部  
**「核実験を生きるマーシャル諸島の人々ー北九州で考える(1)」**

2023 **9/2** 土 第二部  
**「核実験を生きるマーシャル諸島の人々ー北九州で考える(2)」**

戦後マーシャル諸島は、アメリカの核実験場となり、大きな被害を受けるとともに、今でも放射能による健康と自然環境への影響が続いています。北九州から遠く離れたマーシャル諸島の人びとの置かれている状況は、知る必要はないのでしょうか、それとも知るべきなのでしょうか。この講演では、「文学の果たす役割」を助けとしながら、そして小倉でよく聞かれる「原爆が小倉に投下されていたら、私はいなかったかもしれない」という言葉を手掛かりにしなが、マーシャル諸島の歴史や現状を学びます。



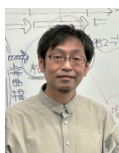
とどろき よしこ  
**轟 良子**さん

2023 **7/28** 金 第一部  
**「鷗外・清張・久女と小倉」**

城下町小倉は明治維新後に軍都となり、第12師団司令部が置かれ森林太郎軍医部長が着任しました。鷗外が記した『小倉日記』は所在不明になり、それを田上耕作は追っていきます。先人を知った松本清張は「或る『小倉日記』伝」を書き芥川賞を受賞しました。その後発表した「菊枕」は杉田久女がモデルとされます。才能がありながら周囲と亀裂を生む久女。小倉に住んだ鷗外・清張・久女を通して時代と風土と作品の関係を読みとき語ります。

2023 **9/15** 金 第二部  
**「牧水・白秋・雨情と北九州の文学」**

国際港の門司・軍都の小倉・石炭の若松・鉄の街八幡・教育の戸畑として旧5市は栄えてきました。野口雨情、北原白秋、山口誓子、若山牧水といった詩人や歌人が訪れ街の人たちと交流しました。そこから阿南哲朗、三苦守西、横山白虹といった北九州の文化人たちが生まれていきます。その絆の形として175基の文学碑が建立されました。その85%は、句碑と歌碑です。それは私たちに何を伝えるのでしょうか。身近にある碑と北九州の文学と一緒に考えてみませんか。



まついたかひで  
**松井 貴英**さん

2023 **8/18** 金 第一部  
**「松本零士とその時代(1) 漫画は戦争をどのように描いてきたか」**

松本零士をはじめとした戦中派の漫画家たち(石ノ森章太郎、藤子不二雄、辰巳ヨシヒロ)を中心に、彼らが戦争をどのように描いてきたのかを見ていながら、それぞれの漫画家の独自性について比較し解釈をしていきます。特に松本零士の宇宙を舞台とした戦いの表現方法を読み解いていきます。

2023 **9/22** 金 第二部  
**「松本零士とその時代(2) 松本零士と少年期」**

松本零士をはじめとした同年代の漫画家たち(石ノ森章太郎、藤子不二雄、辰巳ヨシヒロ)が、少年という存在そして少年の成長をどのように描いているかという視点から各作品を比較し解釈していきます。さらには、松本零士以降の漫画家たちが少年の成長を描いているかについても、時間の許す限り見ていながら比較検討していきます。

■お問合せは

**北九州文学サロン**

TEL・FAX/

**093-383-8610**

●主催/北九州文学サロン実行委員会 ●後援/北九州市

●協力/京町銀天街協同組合 北九州市立大学「ブンガクの街・北九州」発信プロジェクト

